

## 議会報告会 報告書 (H26年度第2回)

彦根市議会議長 谷口典隆 様

議会報告会 A 班  
宮田 茂雄

開催日時	平成26年11月21日(金) 19時00分～20時40分
開催場所	彦根市福祉センター 3F会議室
出席議員	<p>議員氏名 (役 割)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山田多津子(班 長) 総括・報告</li> <li>・北村 收 (副班長) 報告</li> <li>・小川喜三郎 報告</li> <li>・安藤 博 司会進行・報告</li> <li>・宮田茂雄 記録・報告</li> </ul>
参加者数	4人
内 容 (内容及び 時間配分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開会挨拶、メンバー紹介等 19:00～19:05 5分間</li> <li>・決算報告 ～19:20 15分間</li> <li>・質疑応答 ～19:33 13分間</li> <li>・テーマ報告と意見交換 ～20:32 59分間</li> <li>・閉会挨拶 ～20:35 3分間</li> </ul>
主な質疑応答、 議会への意見	<p>第1部 (決算報告について)</p> <p>Q: 中学校卒業までの入院費無料化に関して、子育てしやすいまちにするため通院費への補助はできないか? また、プレミアム商品券は経済効果もあるので今後の発行見通しは?</p> <p>A: 今の状況では難しい。通院費まで対象にすると中学卒業まで約1億7千万円程度かかり国保負担に跳ね返るのでできない。米原市、多賀町、甲良町は中卒まで、豊郷町は高卒まで完全無料である。 プレミアム賞品券については緊急経済対策効果があり購買意欲も高まる、3月の当初予算審議時議論したが、一定の緊急経済対策効果があったし、券を買う人が固定化している。地方ではまだ経済効果が見えないので復活を望む声があり、来年度予算に向けて12月議会で復活の議論があると思う。</p> <p>Q: プレミアム商品券を大規模店舗か中小店舗などどこで使われているか把握しているか? 若年者が使うようにすることが大切で、彦根は大学生が多いがいかにかこういった若い人に住んで貰えるようにするかであり、そこに目を向けて発行するべきである。目先のこと(緊急経済対策?)より長期に目を向けた方がよいと思うがどうか?</p> <p>A: あくまで緊急経済対策であるが当初予算の1850万円が地元商店に流れたのではないと思う。中長期的に展望すれば他の事業をとということも考えられるので今後議論していきたい。若者が定住することが大切</p>

でありこの意見を踏まえ議論していきたい。

## 第2部(テーマ報告・① 国体開催)

Q：彦根が良くなるようにしてもらいたい、予算については国から補助があるのか？

A：国体は県が主体なので県への補助がある。競技場だけで135億円かかる。彦根の持ち出しも多い。市長は6種目実施したい意向。和歌山市は16種目実施するが現県有施設を使うので持ち出しが少ない。実施種目の種類や現有施設を使えば安くなるなど実施の仕方次第である。競技場の周囲を植栽で囲むなど世界遺産登録との絡みが厳しく難しいが市長は両立を目指すとのこと。

## (テーマ報告・②危機管理 防災対策)

Q：自分を守るのは市民の問題だと思う、台風の時避難所を覗いたが市民誰もいなかったが市職員が来て待機しているなど市は良くやっている。避難所マニュアルは分厚くて誰も読まない、河川水位の状況などの情報により避難するか家にいるかは自分の判断だと思う。また、(災害時は)若い人の支援が必要で地域の中での学生のつながりが必要。

A：備えが必要で市民の持つ意識が防災減災に関わる、ハザードマップも配布している。ご意見は今後の議論に活かしたい。

## (テーマ報告・③介護保険制度)

Q：介護医療は大変だと思う、負担は増やさないで将来にわたりサービス水準を低下させないように長い目で取り組んで欲しい。

A：介護保険制度は難しく理解をしにくい、サービスが増えると保険料も増えてしまう制度である。来年度からは制度が大きく変更され、要支援1, 2の方は介護保険サービスから市町の事業に移行されるため、市町間でサービス内容に差が生じてくる。保険料は40歳から納付が必要であり、来年度からの第6期介護保険事業計画が策定中だが、介護認定者が増加傾向で、それに伴いサービスの供給も増える見込みで、現在介護保険料は平均で4738円が、まだ確定ではないが5400円くらいの保険料になることが予想されます。そもそも、国が介護保険事業への補助率を50%であったものを25%に減らしてきたことが、保険料の負担に大きく影響している。

## (テーマ報告・④図書館整備 世界遺産登録 女性副市長 エアコン)

Q：現図書館は南部の人には遠いですか？(私は近くに居るので分からない) 公約に順序があった方が分かり易く人を選びやすい。現市長公約の1番目は何でしたか？

A：現図書館は市の北側外れにあり利用しにくい。市長公約1番は日本一の福祉のまちづくりである。

Q：3つの公約のうちどれが一番強かったか？

A：3つとも一定の実現はあったが福祉は少し問題あり。

Q：副市長に福祉方面への期待をしたのがいつの間にか世界遺産になっているが違和感はないのか？

A：副市長は女性で民間出身で広い範囲の福祉をやってもらおうということであったが・・・答えは難しい。27年度予算で大久保カラーがどこまで出せるか期待していきたい。公約の中に福祉に明るい副市長を置くと

